

高浜・大飯原発の避難計画

同時事故でも

「対応可能」？

内閣府・福井県^{など}確認

営業運転中の関西電力高浜原発3、4号機（福井県高浜町）と3月以降に順次再稼働する関西電力大飯原発3、4号機（同県おおい町）で同時事故が起きた場合について、原子力防災を担当する内閣府と福井県などが、それぞれの広域避難計画で基本的に対応可能であると確認していたことが15日までに、内閣府の資料から分かりました。地元からは、「単独の原発事故の避難計画の実効性も検証されていないのに、論外だ」と批判の声が上がっています。

高浜、おおい両町は隣 画を了承していますが、
り合い、二つの原発は直 同時事故を想定した計画
線距離で約13・5キロ。 は作られていません。
政府は原子力防災会議で 高浜、大飯両原発の30
既に両原発の広域避難計 *圏は福井、滋賀、京都

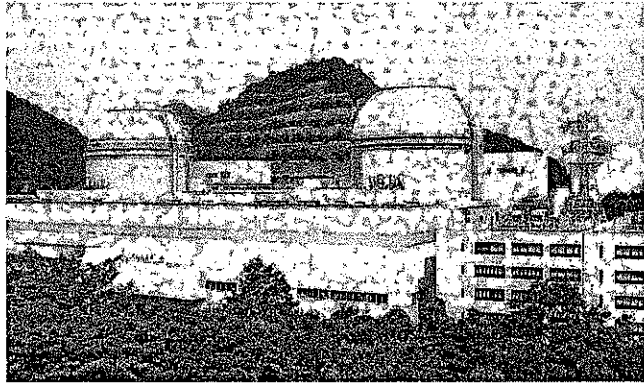
地元町民過半数が不安

佐藤正雄・日本共産党県議 半数が、事故があった場合に
の話 大飯、高浜両原発で同 避難できるのか不安を持って
時の事故想定は、訓練計画も います。私も県議会で高浜原
ないのだから「対応可能だ」 発との同時発災の想定もしな
などというのは論外です。3 いばかりか、大飯原発の単独
月に大飯原発3号機の再稼働 事故を想定した広域避難訓練
が計画されていますが、世論 もしていないことを指摘し、
調査で地元のおおい町民の過 再稼働は許されないと批判し

単独での計画も検証なし

の3府県にまたがり、圏内にはそれぞれ約18万16万人の住民がいます。資料によると、今年1月、高浜、大飯両原発の広域避難などを調整する課長級の会議で、内閣府が3府県や関電などに同時事故発生時の考え方を説明し、「緊急時対応（広域避難計画）をベースに基本的に対応可能」との見解を示しました。会議では、同時発生時の資機材の確保や避難経路の追加などについて検討を求める意見も出されました。
福井県の担当者は「住民の避難先などはそれぞれの計画で定められ、重複していないので対応できると確認した」と話しています。

てきました。
また今月、県北部の嶺北地方は大雪に見舞われました。原発のある嶺南から嶺北に避難する計画もあり、仮にこのような大雪の時に原発事故が起これば、嶺北地方の避難所まで逃げられないことが、明瞭になりました。
そういう豪雪被害を踏まえ、県も国もきちんと検証し直す必要があります。



関西電力大飯原発3、4号機（右から）＝福井県おおい町